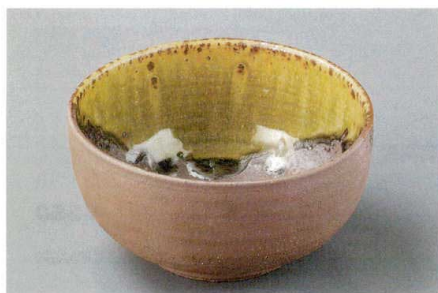


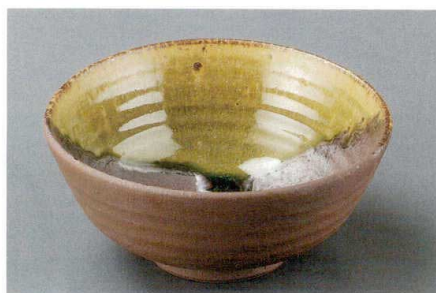
Catalogue No.

20232-784

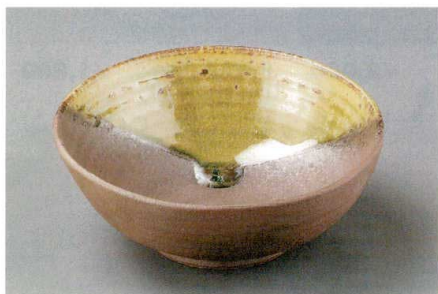
784 えちぜん焼



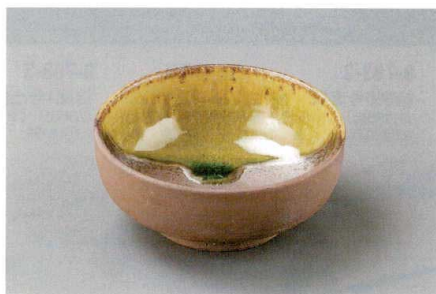
9-784-1 ￥9,300
えちぜん焼小井 緑釉流し
φ145×70 80508040



9-784-2 ￥9,300
えちぜん焼中井 緑釉流し
φ150×70 80508050



9-784-3 ￥12,000
えちぜん焼平井 緑釉流し
φ165×55 80508060



9-784-4 ￥7,800
えちぜん焼小鉢 緑釉流し
φ115×50 80508070



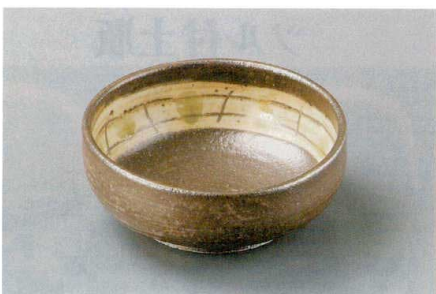
9-784-5 ￥9,300
えちぜん焼小井 幾何模様
φ145×70 80508080



9-784-6 ￥9,300
えちぜん焼中井 幾何模様
φ150×70 80508090



9-784-7 ￥12,000
えちぜん焼平井 幾何模様
φ165×55 80508100



9-784-8 ￥7,800
えちぜん焼小鉢 幾何模様
φ115×50 80508110

越前焼の歴史をひも解くと、その誕生は今から約800年前の平安時代末期に遡ります。さらに中世に転じると、まさに六古窯と呼ばれる証ともいべき北陸地方最大の産地へと発展。大いなる活況を呈しました。そのパフォーマンスは約200基もの古窯址群からも偲ばれます。時代の変化とともに一時期低迷の方向に向かった越前焼も、現代に入って昭和46年の越前陶芸村建設を転機に、再び活気を取り戻し昭和61年には通商産業大臣より伝統的工芸品の指定を受けるに至りました。

そして現在、多くの洋々たる創り手たちが、伝統を受け継ぎつつ、新たな「土と炎」のドラマを演出し、全国へとそのメッセージを発信しています。

